No.134
2013 1

学院だより

〈東京家政学院大学〉

海外研修
ロイヤルローズ大学のキャンパスにて

〈筑波学院大学〉

市民ギャラリーに
展示された
木村さんの作品

〈東京家政学院大学〉

学院奨学金　表彰生の皆さん
（千代田三番町）

〈東京家政学院中学・高等学校〉

第４回全国高等学校ダンスドリル冬季大会に出場する
ソングリーダー部

目　次

○　学校法人東京家政学院……　１～２P
○　東京家政学院大学……　３～５P
○　入試日程……　６P
○　筑波学院大学……　７～８P
○　東京家政学院中学・高等学校……　９～10P
○　社会のなかで、研究室紹介　……　11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

「東京家政学院創立 90 周年記念募金」報告

創立 90 周年を迎えるに当たり、平成 22 年 7 月から開始いたしました「東京家政学院　創立 90 周年記念募金」は、本年、4 年目を迎えます。

この間、多くの皆様方からご協力ご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたご芳志は、創立 90 周年記念事業として、下記のような事業に活用させていただいています。

これからも千代田三番町、町田、筑波の各キャンパスの教育環境整備を図って参ります。

創立 90 周年記念事業を進めていくため、引き続き、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 1 月吉日

理事長　　山口　孝

創立 90 周年記念募金の合計金額は、55,657,979 円になりました。（平成 24 年 12 月 15 日現在）

＜ 募金は次のような事業に使われています。＞

食堂と喫茶コーナー
（町田キャンパス）

「子供のための音楽教室」の記念碑
（千代田三番町キャンパス）

ペンダント照明
（千代田三番町キャンパス）

図書館のパソコン更新
（筑波キャンパス）

ローズコート
（町田キャンパス）

キャリアサポートセンター
（高等学校・中学校）

＜お知らせ＞

① 平成 23 年度の税制改正で「税額控除制度」が導入されました。この制度は、寄付金が所得税から直接控除されるため、減税効果が大きくなりました。

② 学校法人に遺贈した財産は、相続税の非課税財産になります。ご相談は、募金事務局でお受けし、信託銀行をご紹介いたします。

③ 団体の寄付金として「○○卒クラス会有志一同」等からのご寄付もお受けしています。

＜お問合せ先＞

学校法人　東京家政学院　募金事務局

TEL：０３－３２６２－２２４２　　FAX：０３－３２６２－２１７４　　E-mail：bokin@kasei-gakuin.ac.jp

文化祭に参加しました

去る9月29日、30日に行われた中学・高校の文化祭に参加しました。ここ数年は『中学・高校のあゆみ』を展示発表しています。今年は第1期生（昭和19年卒）の小澤さんの『卒業アルバム』をお貸して、数枚の写真とエピソードを伺いパネル展示をしました。制服を着ていたはずなのに、だんだん増えていくモンペ姿の写真を見ていると、ぐっと胸に迫るものがあります。

毎年行っている『手作り品の講習会』は大変な好評で、多くの小学生が参加してくれました。皆さんの入学を楽しみにしています！

また『手作り品の展示販売』も盛況で、早々に売り切れてしまう品物もありました。校章を染め抜いた小風呂敷も新たに『校章グッズ』としてデビューしました。

あづま会の部屋は、出会いの部屋でもあります。かつてのクラスメートや先生と会って、話が弾んでいる光景は、決して珍しい事ではありません。皆さんもぜひお出でください。

一期生の皆さんと楽しく会談する
あづま会澤田会長と山口理事長

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22 番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

年頭所感

ＫＶＡルネサンス改革を前進させよう

学校法人東京家政学院
理事長　山　口　　孝

新年おめでとうございます

年頭にあたり、学院の繁栄と皆様のご多幸を祈念いたします。

本年は、我が国の「家政学の母」とも讃えられる大江スミ先生が、大正 12 年（1923 年）に、東京家政学院の前身「家政研究所」を創設されてから 90 周年を迎えます。この間、私どもの学院は戦争や災害など幾多の困難を乗り越え、同窓生、教職員が一体となって大江家政学を守り、発展させてきました。

そうしたなかで、家政を現代生活に生かすべく平成 22 年 4 月東京家政学院大学現代生活学部 5 学科を新設いたしました。同時に、筑波学院大学には経営情報学部を設置いたしました。千代田三番町キャンパスのリニューアルが 23 年 3 月に完成し、現代家政学科と健康栄養学科がここに移転し、東京家政学院大学は 2 キャンパス制となって 3 年目を迎えます。このキャンパスには新しく大江スミ記念の「三番町図書館」と「ローズホール」が開設され、KVA 会館も装いを新たにしました。併設中学・高等学校も美しい季節の花に囲まれ、最新の人工芝グランドを整備し、生徒と先生が進学などについてくつろいで話し合う「キャリアサポートセンター」もできました。これにより三番町キャンパスは「町田」、「筑波」、「中・高」、同窓会等の誰もが利用できるセンター施設として再生されました。

大江スミ先生が東京大空襲で全焼した焦土のなかで託された希望の土地、町田キャンパスは、整備が進み「ローズコート」（交流室）、食堂と喫茶コーナー、「KVA ショップ」などが整備されています。筑波学院大学では、パソコン演習室や図書館機能の更新など経営情報学部にふさわしい施設整備がなされました。これらの施設整備の資金の一部は、90 周年記念募金によって賄うことができ、寄付をお寄せいただいた方々に心より御礼申し上げます。

平成 24 年度、東京家政学院大学では、23 年度に続き定員充足が達成されました。筑波学院大学、中学・高校も昨年を上回る入学生を迎え入れることができました。

本年は学院を挙げて取り組んでいる 5 カ年計画の 4 年目に当たります。就学人口の停滞とデフレ不況の深化のなか、KVA ルネサンスの精神を生かした新鮮なビジョンのもと、学生募集・教育・就職を一体としてとらえ理事会・教職員が一丸となって学院の発展を期しております。この計画の達成は容易なこととは思っておりません。学院の発展のため同窓の皆様、教職員の皆様、全力を尽くし努力しようではありませんか。

これをもって年頭ご挨拶といたします

『卒業アルバム』をお貸しください！

あづま会では、『卒業アルバム』を求めています！『学院のあゆみ』を調べるのに卒業アルバムは欠かすことができません。自分で台紙に写真を貼っている年があることや、アルバムの無い年があることもわかりました。

遠方からアルバムを送ってくださる方がいらっしゃる一方で、学院を見たいからとご持参くださる方もいらっしゃいます。その時は、一緒にアルバムを見せていただきながら、一つ二つ質問をしていくと、どんどん時間がさかのぼり、たくさんのエピソードをお聞きすることができます。今まで 11 冊のアルバムを見せていただきましたが、昭和 20 年代に卒業された方のアルバムが少ないのです。

昭和 20 年代の卒業アルバムをぜひお貸しください！

昭和 33 年卒業の平手千華子さん

東京家政学院大学
TOKYO KASEI-GAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）
千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

アリオ橋本にて、「ものつくり・体験教室」を開催

8月25日（土）、橋本駅近くの大型ショッピングモール、アリオ橋本にて、本学町田キャンパスの3学科により「夏休み 大学生と楽しむものつくり・体験教室」を開催しました。工作や小物作り、実験、車いす体験等19のブースを用意し、総勢120名以上の教員・学生が対応しました。

当日は450人以上の子どもたちが来場し、参加者からは「時間がなくて全部見られなかったけど、次回、楽しみに待っています」、「いろんなものに触れ、いろんなものをつくれて楽しかった」といった声が聞かれました。

子どもたちと学生が一緒にものづくり

本イベントは昨年度に引き続き2回目の開催となります。参加人数は昨年度を上回り、また昨年も参加したリピーターの来場者もおり、着実に地域に根付いてきたことがうかがえます。アリオ橋本とは、今後も地域貢献をコンセプトにさまざまなイベントを共同で開催していく予定です。

津久井地域で「にごみうどん」料理教室を実施

生活デザイン学科では、平成23年度より、津久井地域商工会連絡協議会との連携により、津久井地域の伝統的家庭料理である「にごみ」（煮込みうどん）の再現および普及のためのプロジェクトを行っています。プロジェクトには同学科の1～3年生、13名が参加し、更に今年度より多摩大学の協力も得て、「にごみ」の普及活動を開始しました。

今般、同プロジェクトの第一弾イベントとして、9月29日（土）に藤野地区で「親子で楽しむ「にごみうどん」料理教室」を開催しました。当日は、3歳から70歳代まで総勢12

学生の指導でうどんを打つ子どもたち

人が参加し、学生たちと一緒に、皆で楽しくうどんを作り、「にごみ」をいただきました。同料理教室は相模湖地区でも10月13日（土）に開催しました。

また、イベント等での試食提供等にも学生らが参加し「にごみ」の普及を行っています。

大学・中高合同防災避難訓練の実施

好天に恵まれ、大学と中高の合同防災避難訓練が10月12日(金)の昼休みに行われました。

訓練開始の校内一斉放送を受け、学生・生徒・教職員達は、白衣や運動着など授業時のまま、中庭のテニスコートに避難しました。

学院奨学金授与式

成績優秀者に贈られる、平成24年度の東京家政学院奨学金・学校法人東京家政学院創立80周年記念光塩会奨学金の授与式が、町田キャンパスでは10月18日（木）に、千代田三番町キャンパスでは10月23日（火）に、そして11月10日（土）には光塩会奨学金授与式が町田キャンパスにて行われました。

学生達は、学長または光塩会会長から手渡された賞状など晴れやかな表情で受け取っていました。

カナダで海外研修

今年度の「総合演習２」の授業は、ビクトリア州立ロイヤルローズ大学で９月に２週間に亘り実施されました。23 名の学生が事前授業を経て参加。大学は 120 年前に建築された城のような建物で、キャンパスには鬱蒼たる森林と美しい庭園が広がるという環境。引率の大和田寛、内田敬子両准教授によると、学生は英会話とカナダ文化を楽しみながら学習し、今後の英語学習への意欲をかき立てられて帰国しました。（表紙左上の写真参照）

11 月８日には、９月にお世話になった大学の先生がカナダから千代田三番町キャンパスを訪問され、山口理事長との歓談後、学生の作る江戸時代の料理を学生と共に賞味し、楽しいひと時を過ごされ、交流が深まりました。

最後まで諦めなかった 三井アウトレットパークファッションショー Sweets～おかしなドレス～

10月28日、日曜日、曇りのち雨、朝6時の天気図は疎らな雨雲が分布し、今にも降り出しそうな空模様でした。屋外ステージのこのショーを是非開催したい一心で、会場にて待機しましたが、激しい雨が降り出し、止む無く中止を決めました。学生たちは期待と落胆の繰り返しで疲労に満ちた心模様でした。

その時、ピタッと雨が止んだのです。一斉に歓喜の声が沸き上がり…ここから今回のショーが始まりました。浴衣の創作帯、日米桜交流百年記念のバレエ衣装、お菓子の国の甘いおかしなドレス、婚礼衣装色打掛のリメークドレスなどが登場し、予定した2回のショーを開催することができました。

願いを心に刻み、願えば叶うことを信じ、最後まで諦めないその向こうに成功が待っていると学生たちは気が付いたことでしょう。物事が思うようにならない昨今ですが、この成功体験を元にして、今後の勉学や社会生活を前進してほしいと感じたショーでした。

フィナーレのシーン
（色打掛のリメークドレス）

多摩大学とのコラボで学生がプロデュースする 新しいデイサービスプログラムを開発中

人間福祉学科の3人の学生たちが、新しい取り組みを始めています。

多摩ニュータウンは、建築後40年以上が過ぎ、老朽化し、住民の高齢化も目立ってきました。そのなかに、「笑う門」というリハビリに特化した新しい形のデイサービスが生まれました。今までのデイサービスにはない、新しい価値を創造したい、若い人たちのセンスを生かし、団地の活性化にも貢献したいと、彼らは考えています。

そこでこの思いを実現するために、東京家政学院大学と多摩大学はコラボレーションを組みました。なぜ、二つの大学のコラボか？それは、それぞれの大学の強みを生かしたいという思いからです。我々には、生活や福祉に対しての強みがあり、一方、多摩大学には経営やマーケッティングに強みがあります。双方のこの強みを生かし、融合することで、新しい時代の新しいデイサービスの創造に貢献できると考えました。

学生たちは頻繁に会合し、そしてその成果を教員と共有し、また現場に戻しながら、今、さらに洗練されたプログラムを開発しています。

多摩ニュータウンでの真夏の
フィールドワーク

第49回ＫＶＡ祭 Jack in the box ～ワクワクがここにある～

11月10日（土）・11日（日）、第49回ＫＶＡ祭が開催、69団体（延べ２１５０名）が参加しました。今年はゼミなどの参加も多く、模擬店や展示に日頃の成果を披露しました。人気のビンゴ大会では、企業等からの協賛品もあり、カードが完売しました。今年は、「ＤＡＩＧＯ」さんのトークショーや韓国アイドルグループのライブで大盛況でした。

ＫＶＡ祭の様子

保護者対象教育懇談会・個別面談実施

保護者を対象とした初めての「教育懇談会・個別面談」が11月11日に町田キャンパスで実施され、18組の保護者が参加しました。会場には各学科の個別相談室が設けられ、保護者は教員に子女の「学業のこと」や「就職・進路のこと」について、熱心に相談していました。保護者からは「大学の様子や先生方のことを知ることができ、とても満足しました。」という意見が聞かれ、好評の内に終了しました。この他に、天野学長による「女性のライフキャリア」についての講演、就職担当職員による「就職説明会」も行われました。

学習支援室オープン

昨年９月に学習支援室が町田（1208 室）、千代田三番町（1404 室）の両キャンパスにオープンしました。上級生による履修登録サポート、学習支援室のスタッフによる学習サポートなどの支援活動を開始しました。学生の皆さんが入学から卒業まで安心して充実した大学生活を送ることができるように、支援活動を続けていきます。履修する授業や学習方法など修学に関してわからないことがある場合には支援室の扉をたたいてください。

学習相談風景

管理栄養士の臨地実習報告会

ポスター示説

健康栄養学科では、1年次に学外実習の導入教育として「基礎ゼミ」、2年次に、管理栄養士の活躍の場を体験する「健康栄養プロデュース実習」があります。これらを基礎に3年次に事業所や学校などで給食運営を学ぶ「給食運営臨地実習」、病院などで栄養ケアプランなどを学ぶ「臨床栄養臨地実習Ⅰ・Ⅱ」、保健所や保健センターで公衆栄養プログラムを学ぶ「公衆栄養臨地実習」があります。その臨地実習の総まとめとして、4年生が実習記録や体験を報告します。これは、4年生は個々人が実習した施設以外の理解を深め、後輩達（2、3年生）は先輩達からのアドバイスや情報を共有することにより、効率的な事前学習の場となっています。

今年もEDO ART EXPO（9月28日～10月16日開催）に協賛・共催しました

昨年度実施した学内展示、着物ショーへの参加（今年は留学生が参加。日本文化に触れる良い機会となりました）に加え、今年は同時開催された「東京都の児童・生徒による江戸書道展」に中高生が参加しました。また、優秀作品に東京家政学院大学賞を贈り、入選作品の学内展示も行いました。

お江戸日本橋舟めぐりの船

最も活躍したのはプレススタッフとしてブログでイベント等の様子をレポートした学生たちで twitter でも発信され、話題となりました。スタッフの一人、福田有加さん（現代家政学科1年）に感想を聞きました。

プレススタッフとして活動して、江戸の美意識をたくさん感じることができ、企業やお店の方との関わりの中で、コミュニケーション能力をつけることができました。印象に残ったのはお江戸日本橋舟めぐりで、古地図を片手に解説者のお話を聞きながら18の橋の下をくぐって行きました。街を歩いている視線の高さとは違う、水辺から江戸東京の街を再発見できる素晴しいイベントでした。

コンケン大学本学ご訪問

千代田三番町での交流会の様子

9月25日にコンケン大学看護学部（タイ）の先生方12名が千代田三番町キャンパスを訪れ、交流会を開催しました。その際、児童学科および人間福祉学科のプログラムに高い興味を示されたことから、11月21日には関係者6名による町田キャンパス訪問が実現。交流会と施設見学を実施しました。両日とも和やかながら非常に活発な意見交換が行われ、学部間提携校としての交流が深まりました。

受贈資料紹介

右より「授業料・校費領証収」、西洋料理ノート、日本料理ノート

生活文化博物館では、卒業生の方々から在校当時の教科書やノート、授業で制作した作品などを寄贈いただきました。今夏、ご子息より小池とみ子様（専一回生）の遺品、昭和2年時の「授業料・校費領証収」、日本料理と西洋料理の授業のノート2冊をいただきました。それぞれ料理別の材料や作り方などが丁寧に記入されており、1冊は本学特製のものでKVAマークが印刷されています。創立初期の様子がうかがえる貴重な資料です。今後、展覧会での披露を企画しています。

児童養護施設等からの入学者を対象とした「学費等減免制度」について

本学では、平成25年度から児童養護施設・里親家庭等からの入学者を対象とした学費減免制度を導入しました。入学金免除、授業料・施設設備資金を四年間、半額免除としますので、経済的な負担が大きく軽減されます。

今回は、受け入れ態勢の整った人間福祉学科において実施し、4名が入学します。

日本文化学科合同同窓会開催に関するお知らせ

日本文化学科では、以下の要領で合同同窓会を開催いたします。卒業生のみなさまのご参加を心よりお待ちいたしております。

日　時：2013年3月3日（日）13：00～15：30
場　所：京王プラザホテル新宿
参加費：3500円の負担をお願いいたします。（集合写真をご希望の場合は5000円）
申し込み期限：2013年1月末日
申し込み方法：下記の学科専用のメールアドレスにて申し込んでください。後日、詳細をメールにてお知らせいたします。
学科専用アドレス：nitibun@kasei-gakuin.ac.jp
◎なお、メールには、氏名（旧姓併記）・所属ゼミ・卒業年度をお書き添えください。

平成25年度　東京家政学院大学・大学院　入試日程

東京家政学院大学では、平成25年度4月から現代生活学部「現代家政学科」、「児童学科」及び「人間福祉学科」の入学定員を変更します。

変更後の入学定員は以下のとおりとなります。

定員変更を行う学科及び定員

現代生活学部

	変更前		変更後
■現代家政学科	120名	▶	130名
■児童学科	80名	▶	90名（予定）※指定保育士養成施設の定員増申請中
■人間福祉学科	80名	▶	60名

※健康栄養学科及び生活デザイン学科の定員変更はありません。

現代生活学部

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日	募集人員
一般入試	S日程	1月7日（月）～1月17日（木）	1月26日（土）	1月30日（水）	2月6日（水）	48名
	A日程	1月7日（月）～1月18日（金） 窓口受付：1月21日（月）※2	2月1日（金） 2月3日（日）	2月4日（月）	2月12日（火）	95名
	B日程	1月23日（水）～2月6日（水） 窓口受付：2月7日（木）※2	2月14日（木）	2月15日（金）	2月22日（金）	24名
	C日程	2月21日（木）～3月1日（金） 窓口受付：3月4日（月）※2	3月13日（水）	3月14日（木）	3月22日（金）	8名
センター試験利用入試	A日程	1月21日（月）～2月1日（金） 窓口受付：2月4日（月）※2	大学入試センター試験 1月19日（土） 1月20日（日）	2月7日（木）	2月14日（木）	26名
	B日程	1月30日（水）～2月8日（金） 窓口受付：2月12日（火）※2		2月15日（金）	2月22日（金）	13名
	C日程	3月7日（木）～3月18日（月） 窓口受付：3月19日（火）※2		3月22日（金）	3月28日（木）	7名
特別選抜試験（社会人・海外帰国子女）	B日程	12月10日（月）～12月17日（月）	1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）	若干名
私費外国人留学生試験	B日程	11月14日（水）～11月28日（水） 窓口受付：上記期間中※3	1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）	若干名
編入学試験・学士入学試験	B日程	12月10日（月）～12月17日（月）	1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）	若干名

※1　出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※2　一般入試、センター試験利用入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
※3　私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。

大学院

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	募集人員
一般・社会人・留学生選抜（後期）	1月29日（火）～2月5日（火）	2月12日（火）	2月19日（火）	2月26日（火）	計10名

※大学院入学時の学納金が変更されます。
・本学院の卒業生は入学金が全額免除となりました。
・授業料（前期）が300,000円に、施設設備資金（前期）が50,000円になりました。

（お問い合わせ先）
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292　東京都町田市相原町２６００番地
町田キャンパス入試広報グループ
TEL　０４２－７８２－９４１１
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/　E-mail　nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

平成25年度　筑波学院大学　入試日程

経営情報学部

入試種別	区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	募集人員
一般入試	A日程	1月15日（火）～1月31日（木）	2月10日（日）	2月14日（木）	30名
	B日程	2月6日（水）～2月20日（水）	3月2日（土）	3月7日（木）	15名
センター試験利用入試	A日程	1月28日（月）～2月6日（水）	本学独自の学力審査はありません	2月19日（火）	10名
	B日程	2月25日（月）～3月12日（火）		3月19日（火）	5名
AO入試【予備面談型・作品型】	4期	2月25日（月）～3月12日（火）	3月17日（日）	3月19日（火）	AO入試計60名
私費外国人留学生入試	B日程	1月7日（月）～1月18日（金）	2月3日（日）	2月7日（木）	若干名
社会人入試		1月7日（月）～1月18日（金）	2月3日（日）	2月7日（木）	若干名

平成24年度オープンキャンパス開催日時

2月23日（土）14:00～
3月24日（日）10:30～

（お問い合わせ先）
筑波学院大学
〒305-0031　茨城県つくば市吾妻３－１　入試・広報課
TEL　０２９－８５８－４８１５
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp　E-mail　nyushi@tsukuba-g.ac.jp

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

セグウェイプロジェクト進行中

おそらく全国の大学で唯一、筑波学院大学だけが持っているもの。それは、セグウェイと、セグウェイプロジェクトです。

セグウェイとは、新しいタイプの移動手段で、電動の立ち乗り二輪車です。体重移動だけで、スピードや方向が定まる仕組みになっています。国内で公道を走れるのは、国のロボット特区に認定されたつくば市だけです。

本学の2年生12名が、「実践科目B」を活用し、公式の初級インストラクターとして取組んでいるのが、セグウェイプロジェクトです。つくば市が施策として行う観光ツアーや試乗会のアシスタントを務めるほか、セグウェイを活用して、つくば駅近辺の清掃活動、チラシの配布活動、つくば市の国際会議場を利用する方への道案内など幅広い活動を行っています。

セグウェイ清掃活動の様子

セグウェイチラシ配布活動の様子

学生たちは、初めてセグウェイに乗る方が、安全に、楽しんで乗れるよう、緊張をほぐしながらコミュニケーションを取る力を磨いています。今後の活動の広がりにご期待ください。

つくば市の公共駐車場における広報・デザイン活動

筑波学院大学デザイン系研究室（高嶋講師、中川講師）では、一般財団法人つくば都市交通センターの依頼を受け、「新しい街作りの核となる駐車場」を目指した広報活動をスタートしました。

ＴＸつくば駅近くの複合型ショッピングセンターに隣接する大型立体駐車場「うみとりくの駐車場」の2階エレベーターホールおよび連絡通路に、地域情報を掲載する情報掲示板をデザインしました。また近隣地域の地図は、より分かりやすく美しいデザインへと変更しました。

各ボードには、地域の図書館、美術館、ホール、筑波学院大学などのイベント情報、グルメ情報等を掲示されます。ボードに掲示されるポスターは、本学でデザインを学ぶ2～3年生が編集・レイアウト、更新作業を担当しています。

またこの計画と同時に開設された1階に市民ギャラリーには、本学2年生の木村遥さんの作品が展示されました。今後も本学の学生作品が継続して展示される予定です。

本学がデザインした情報ボード

「学食フェア」始まる

「もっと魅力的な学食にしたい。」という学生の要望から始まった学食改善プロジェクトは、毎週水曜日のフェアの開催や、単品販売などの取組により、学生の利用者数も増え、ランチタイムの学食は多くの学生で賑わっています。後期より学生を主体とした学食改善委員会も発足し、より学生が利用しやすい、魅力的な学食作りに取り組んでいく予定です。

平成 24 年度就職ガイダンスを実施しています

３年生を対象とした就職ガイダンスを隔週水曜日の５時限目に実施しています。本格的な就職活動のスタートである 12 月に向けての準備とその後の対策として、履歴書や面接対策など、盛りだくさんの内容となっています。

社会人基礎力育成グランプリ関東地区予選大会で本学チームが奨励賞を受賞！

11月14日、日本経済新聞社東京本社において社会人基礎力育成グランプリ関東地区予選大会が開かれ、経営情報学部3年の谷山秀明君、黒田大貴君、飯島魁君の3名が、亀田千里講師と共に出場しました。この大会は、経済産業省が提言する「社会人基礎力」（職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事する上で必要な基礎的な能力）の育成事例とその成果を発表するもので、２００７年度から実施されており、本学は今年で3回目の参加となります。

本学のチームは、「多面的に見る震災と支援―被災者が今必要としているもの―」というテーマで、谷山君達が授業「実践科目C」の中で取り組んだ震災復興支援活動の様子やそこで得られた成果についてプレゼンテーションを行いました。3名は緊張しながらも堂々と発表し、審査員からの質問にも一つ一つ誠実に答えていました。

本学チームは奨励賞を受賞し、本学学生の取り組みを広く知って頂くよい機会となりました。

社会人基礎力育成グランプリ発表の様子

本学留学生が『JAPAN TENT 世界留学生・いしかわ２０１２年』に参加

私はスリランカ出身の留学生、アマーリウィラシンハです。石川県で開催された第25回記念JAPAN TENT 世界留学生交流・いしかわ２０１２に参加しました。留学生３００人が集まり、8月23日から29日までの7日間、石川県内全19の市町村を舞台にホームステイをしながら、いろいろなプログラムに参加しました。

23日金沢へ行き、オリエンテーションの後、グループに分かれてそれぞれ別の市町村へ行きました。私を含めた8人のグループは宝達志水町へ行きました。海に近い美しい町でした。初めてのホームステイの家族は向田ファミリーでした。若い夫婦で小さい子供が2人いる家族でした。宝達志水町では JAPAN TENT のメンバーたちと宝達山登山、おはぎ作りや、ぶどう狩りをしました。ぶどう狩りで初めてルビーロマンを食べました。本当においしいぶどうでした。向田ファミリーと、のとじま水族館、ガラス美術館、千里浜海岸などいろいろなところに行きました。26日に金沢のもう一つのホームステイ先に行きました。そこはおじいさんとおばあさんの茂ファミリーでした。私と中国の留学生が一緒にホームステイしました。茂ファミリーと一緒に金沢21世紀美術館、兼六園、金沢城公園、香林坊などへ行き、とても楽しい生活をしました。

ふるさと愛がしみじみと感じました。最高な思い出ができて、一生忘れられないと思います。実は今、写真を何回も見て振り替えりました。たぶん石川県シックだと思います。ジャパンテントに関わっている皆さんに本当に感謝しています。

ホームステイ先の向田ファミリーと

第12回保護者会開催

9月29日（土）に第12回保護者会を実施しました。今回の講演はマイナビ編集長の三上隆次氏を招いて『就職市場概況及び家庭に於ける就職支援』という演題で行われ、就活で保護者ができるサポートについてのお話でした。

留学生日本文化研修

秋晴れに恵まれた11月10日に、恒例の研修旅行に出かけました。今年は多数の学友会学生と大学院在学の卒業生も交えた留学生など23名が参加しました。伝統工芸で有名な結城紬の里ではコースターのはた織りを体験し、昼食後の下妻ふるさと博物館では館長さんの出迎えを受け、郷土の歴史と著名人の説明展示を楽しみました。最後に筑波山を周回して八郷村のみかん狩りを堪能しました。身近な郷土を知った、普段経験できないことが体験できたと参加者から喜びの声があがりました。

研修の様子

第 22 回ＫＶＡ祭

平成 24 年 10 月 27・28 日に第 22 回ＫＶＡ祭が開催されました。「いって　みて　わかる。」と言うテーマを掲げ、２日目は残念ながら小雨でしたが多数の来場者を集めました。

今年は、元サッカー日本代表の通訳を務め現在スポーツキャスターのフローラン・ダバディ氏講演会と、あやまんJAPANトークショー＆ライブ！が行われました。

恒例となった「第７回ＫＶＡ杯ドッジボール大会」、学友会主催の「つくば仮装コレクション2012」も盛況でした。

ＫＶＡ祭の様子

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

第48回常磐祭（中高生徒会）

今年の常磐祭は、第一部体育祭が９月26日に、第二部文化祭が９月29日・30日に実施されました。例年になく体育祭と文化祭の間の期間が短く、体育祭の予行や文化祭の準備を含めて、常磐祭週間となりました。

第一部体育祭は綾瀬にある東京武道館で行われました。徒競走や騎馬戦、クラス対抗リレーなど内容盛りだくさんです。各種目大きな盛り上がりを見せましたが、最大の見所は高３の「荒城の月～幻想～」です。約半年間練習を重ね、この日の成功を実現させました。

第二部文化祭は、模擬店・舞台発表・展示・招待試合等、各参加団体がこれまで重ねてきた練習や準備の成果を思う存分に発揮しました。また、台風の接近に伴い予定を変更しながらの開催でしたが、それでも多くのお客様にご来場いただきました。

文化祭入場門

体育祭　高３荒城の月

この一週間は生徒にとってとてもハードでしたが、今年の常磐祭のテーマ「宙星（そら）」の通り、生徒一人ひとりが空のように限りない希望を胸に輝き成長できた常盤祭となりました。

入試広報係だより

本年度も入試のシーズンがやってきました。

長引く経済状況の不安定さと少子化の影響など、私学受験に対する逆風はありますが、長尾宏新校長のもと、本校の建学の精神である「ＫＶＡ」精神を広く受験生に伝えて参りました。

また、伝統を現代により即したものへ。長尾校長の志にそって次のようなスローガンができあがりました。

「生きる力を身につけ、自立した女性を社会へ」

その具体策として①適性検査型入試によるpisa 型学習の実施②エンカウンター教育を通じての自尊心の育成③食育の充実をあげることができます。

家政学院に興味を持っている方々にこれらを体感してもらおうと本年度は体験教室や体験講座などを多く開催しました。その中でも「食」に関する体験は受験生に、エンカウンター教育によるアクティビティは保護者の方々に好評でした。

最後に本年度の説明会におきましても、多くの卒業生の方々に足を運んでいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

中学・高校共通イベント

合唱祭	日時：2013 年 1 月 18 日（金） 13：00 ～ 場所：練馬文化センター

受験生・保護者の皆様は予約なしで見学できます。

予選を勝ち抜いて、第 63 回東京都中学校バスケットボール新人大会（11/23）に出場した中学校バスケットボール部の皆さん

２０１３年度　東京家政学院　中学校募集要項（抜粋）

試験日	2月1日（金）			2月2日（土）		2月4日(月)
	第１回			第２回		第３回
	午前	午後A	午後B	午前	午後	午前
募集人員	40 名	40 名	10 名	20 名	10 名	10 名
集合時間	8:30	15:00	15:00	8:30	15:00	8:30
試験科目	2科・4科選択	2科	適性検査	2科・4科選択	2科・4科選択	2科・4科選択
終了時間	2科　10:30	17:00		2科　10:30	2科　17:00	2科　10:30
	4科　11:30			4科　11:30	4科　18:00	4科　11:30
時間・配点	2科：国語・算数　（各 45 分、 各 100 点）					
	4科：国語・算数　（各 45 分、 各 100 点）　社会・理科　（計 50 分、 各 50 点）					
適性検査	《１日・午後Ｂ入試》　適性検査Ⅰ：作文（45 分）　適性検査Ⅱ：融合問題（45 分）					
出願受付	窓口：1 月 20 日（日）～入試当日［日曜を除く］　9：00 ～ 16：00					
	郵送：1 月 20 日（日）～ 1 月 26 日（土）　消印有効					
検定料	20,000 円（複数回受験可）					
特待生制度	全ての入試において特待生を選抜します。 得点率８０%以上・・・入学金および授業料　全額免除 得点率７５%以上・・・入学金および授業料　半額免除 得点率７０%以上・・・入学金　免除					
特別進学コース選抜	全ての入試において特別進学コースを選抜します。 得点率６５%以上を基準とします。					
チャレンジ入試	既合格者を対象に、特待生・特別進学コースの再受験ができます。 （１日午後・２日・４日）					
合格発表	〈午前入試〉	◇掲示……入試当日　14：00 ～ 15：00 ◇ＨＰ……入試当日　14：00 ～ 20：00				
	〈午後入試〉	◇掲示……入試当日　10：00 ～ 11：00 ◇ＨＰ……入試当日　21：00 ～ 翌日 9：00				
入学手続	入試当日～２月 10 日（日）《日曜を除く》　9：00 ～ 16：00					
入学金	250,000 円					

受験生イベント　東京家政学院中学校

○入試説明会（受験生対象）	１月 12 日（土）10:00 ～／ 14:00 ～ 入試直前対策説明会
	２月 23 日（土）14:00 ～ 新６年生対象説明会
○キャンパスツアー	１月 19 日（土）11:00 ～
	１月 26 日（土）11:00 ～

※学校見学・個別相談　随時受け付けます。お手数ですが、お電話でご予約の上（03－3262－2559）ご来校下さい。

２０１３年度　東京家政学院　高等学校募集要項（抜粋）

１．推薦入試

推薦入試を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

推薦方式	①単願推薦１　②単願推薦２　③併願推薦
募集人員	50 名
出願期間	１月 18 日（金）・ １月 19 日（土）
試験日	１月 22 日（火）
合格発表	当日発表
入学手続	①単願推薦１　③単願推薦２　１月 22 日（火）～ 23 日（水）
	②併願推薦　１月 22 日（火）～公立高校前期発表翌日

２．一般入試（併願優遇入試も含む）

併願優遇入試を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

募集人員	50 名
出願期間	１月 25 日（水）～ ２月７日（木）
試験日	２月 10 日（日）
合格発表	当日発表
入学手続	２月 10 日（日）～ 公立高校前期発表翌日

２０１３年度　募集要項のポイント

1. 試験日	２月１日（金）午後Ａ入試は２科目入試です。 ２月２日（土）午前入試を実施します。
2. 募集人員	2012 年度入試の合計者平均得点率は 55%です。
2. 合否判定	試験の成績に基づき合否判定を行いますので、 募集定員に左右されることはありません。
4. 集合時間	午後入試は余裕を持って受験できます。
5. 終了時間	筆記試験で終了です。面接は行いません。
6. 選考方法	科目ごとの基準点は設定せず、合格点で選考します。
7. 配点	４科受験生は 200 点満点に換算して選考します。
8. 出題傾向	基礎問題を中心に出題します。難問、奇問はありません。
9. 適性検査	公立中高一貫校と同じ形式で出題します。
10. 出願受付	当日出願は集合時間まで可能です。
11. 検定料	１回の受験料で複数回受験できます。
12. 特待生制度	授業料免除の対象は１年間です。 次年度への継続は審査の上、決定します。
13. 特別進学コース選抜	得点率が 65%を超えた合格者は全て特別進学コース合格となります。
14. チャレンジ入試	複数回チャレンジが可能です。 受験料は必要ありません。
15. 合格発表	すべて当日に行います（午後入試はＨＰにて発表します）。 合格通知を本校入試窓口にてお受け取りください （9：00 ～ 16：00）。
16. 入学手続	合格通知および受験票をお持ちください。 必要書類をお渡しします。
17. 入学金	返還、延納は実施しておりません。

東日本大震災に伴う志願者及び入学者へは入学検定料免除や入学金・授業料・施設設備資金免除の特別措置を講じてます。
事前にお問い合わせください。

その他ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

東京家政学院中学校・高等学校　入試事務室
電話　03-3262-2559（入試専用ダイヤル）
FAX　03-3262-2223
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail　koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

受験生イベント　東京家政学院高等学校

○キャンパスツアー	１月 26 日（土）14:00 ～
○入試直前　個別相談期間	12 月 １日（土）～ １月 28 日（月）

※学校見学・個別相談　随時受け付けます。お手数ですが、お電話でご予約の上（03－3262－2559）ご来校下さい。

大江スミ奨学金について

昨年度から、中学校２・３年生及び高等学校２・３年生に対しても授業料の減免が受けられる制度ができました。

この制度が受けられる生徒は、前年度に優秀な成績を修め、良好な生活態度で、高校卒業時まで、本学院の生徒として学業を続ける意志のある者とします。

社会のなかで

一流のシステムエンジニアを目指して

筑波学院大学　情報コミュニケーション学部
情報メディア学科卒業　宮嶋　崇史

大学を卒業してから4年の歳月が経とうとしています。私は現在、システムエンジニアとして、コンピュータシステムの開発に携わっています。

この職業に就き、よく聞こえるようになったのが「システムエンジニアという職業はどのような仕事をしているのかわからない」という声です。

私も、実際に自分が仕事を始めるまでは、漠然とした形しか描けていませんでした。

システムエンジニアがよくわからないと言われる理由は2点あると私は考えています。

1点目は、システムエンジニアが作るもの、あるいはエンジニア自身の労働力が企業間取引の対象であるため、一般消費者と関わることがないからです。

しかし現在は、皆さんが利用するサービスのほとんどの裏側でコンピュータシステムが動いています。なかなか目に触れることはありませんが、私たちエンジニアが作ったものは皆さんの役に立っているのだと思います。

2点目は、システムエンジニアという職種は、どういった仕事があるのかを一言で表せないほど、多様な役割を含んでいるからです。営業職に近いセールスエンジニアや、開発後の運用管理を担当するエンジニアなど、仕事の内容は多岐にわたります。

私は業務システムの開発を行うアプリケーションエンジニアです。学生時代からプログラミングが好きで、システム開発の根幹を担うエンジニアを目指してきました。アプリケーションエンジニアはシステム設計やプログラミング、テストを行う最もエンジニアらしいシステムエンジニアだと考えており、やりがいを感じています。

私はまだこの道を進み始めたばかりですが、社会の役に立つシステムを開発できる一流のエンジニアを目指して努力していきたいと思います。

プロフィール

宮嶋　崇史（ミヤシマ　タカシ）
平成21年3月　筑波学院大学情報コミュニケーション学部情報メディア学科卒業
平成21年4月　茨城大学大学院理工学研究科情報工学専攻博士前期課程入学
平成23年4月　富士通アプリケーションズ株式会社入社
現在に至る

研究室紹介45

東京家政学院大学

生活デザイン学科　応用食品科学研究室（山﨑薫研究室）

応用食品科学研究室は立ち上がってまだ4年目の研究室ですが、初年度の卒業研究生の研究を発展させながら、代々、「食用花（エディブルフラワー）と「有用微生物（乳酸菌や酵母等）」を中心に地域活性にも目を向けながら、食に関する研究を進めています。

「食用花」として日本では古くから桜や菊が食されており、代表的な花としては本学校章でもあるバラがあります。新しい品種が年々増えていますが、活用の場はまだまだ限られており、食品成分表に掲載されている食用花はほとんどありません。本研究室では食用花の新たな価値を見出すことで、食関連従事者や市場・一般消費者等への情報発信や食育現場等での活用をより拡げることができると考え、機能性探索や栄養成分分析はもちろん、レシピ開発や加工食品への応用を進めています。

また、植物由来の「有用微生物」が近年、注目されていることから、地域特有の植物由来微生物から新たな産品を作り出すことが地域活性の1つになると考え、研究に取り組んでいます。例えば、三宅島のアシタバから現地採取、分離した酵母を活用した天然酵母パンはドライイーストとは違った風味豊かな香りと味わいがあります。さらに、様々な漬物、野菜、果物から分離した乳酸菌を添加した糠漬けやキムチ、ヨーグルト漬けなど、一味違った漬物作りにも取り組んでいます。

喋らなくとも生き物を扱うため、世話と実験研究の両立に苦心しながらも、周りの皆さんからの味の評価や研究室内での試食会などを研究室生皆で楽しみながら研究を進めています。新しい産品作成にご期待下さい。

研究室での試食会

栽培中の食用花